

2012年4月21日

世界自閉症啓発デー2012 in 横須賀

自閉症の子どもたちの学校から

～つながりをひろげるために～

「交流及び共同学習」の取組

筑波大学附属久里浜特別支援学校

小学部 神 部 守



学校の紹介（概要）

- 横須賀市野比にあって…。
- 前身は国立久里浜養護学校（昭和48年開校）。
- 平成16年、筑波大学の附属校に、
同時に知的障害を併せ有する自閉症の子どもたちの学校に。
- 幼稚部と小学部、
合わせて52名の子どもたち。



「交流及び共同学習」とは…？

障がいのある子どもと障がいのない子どもが、一緒に活動に参加することを通して…。

ふたつの側面

触れ合いを通じて
豊かな人間性をは
ぐくむ。

共に学び合う。

同じ社会に生きる人間として、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことを学ぶ。



幼稚部の取組

交流先：のび保育園



- 平成23年度から実施。
- 園児数 19名。
- 学校から歩いて行ける距離にある。
- 年間6回の交流会（23年度 学期に約2回）



幼稚部

のび保育園の保育士さんの声

- 特別支援学校との交流は全員が初めて。
- 半分の先生は障がい児と関わった経験がある。

「自閉症は人とのコミュニケーションを避けるという先入観をもっていました。そのため保育士に向かって聞いてほしいという態度で、文字を読んで見せてくれたのには驚きました。」

「コミュニケーション能力、生活能力に差異が感じられず、ビックリしました。」

「子どもによって個性がまったく違うと感じました。」

「興味のあることには、子どもたちの方から、関わりをもとうとしてくれた。」



小学部の取組

交流先：横須賀市立明浜小学校

- 平成11年度から実施。
- 本校小学部と明浜小6年の1クラス



小学部

1年間の流れ

4月 交流するクラスが決定

5月下旬 出前授業(明浜小へ)

6月 見学(明浜小→久里浜)

7月 第1回交流会

9月 第2回交流会

(会場:久里浜)

2月

第4回交流会

(会場:久里浜)

12月 第3回交流会

会場は明浜小。

活動プログラムも明浜小
児童が工夫して立案。



小学部

特徴的な取組 その1

5月下旬 出前授業(明浜小へ)

- プリント「自閉症のお友達を理解するために」
 - ・三つの特徴
 - ・友達になるために
(簡単な言葉で 変更は前もってお知らせ など)
- ビデオ視聴
「自閉症の子どもたち」(作成:日本自閉症協会)



小学部

特徴的な取組 その2

12月 第3回交流会(会場:明浜小)に向けて

- 明浜小児童が考えた活動プログラムへのアドバイス

ex:

「活動数は、二つくらいがちょうどいい。」

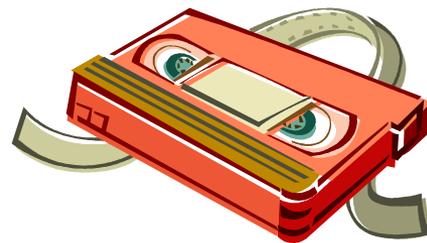
「一つの活動は、一つの場所で。」

「どんな活動をするのか、流れを分かりやすく提示するとよい。」



明浜小学校児童の感想

- ▶ インタビューしたものをビデオに
まとめましたので御覧ください。



まとめ

「交流及び共同学習」の
活動を通して期待すること

【本校の子どもたちには？】

普段とは違う人と接することや、
普段できない活動を経験することで...



いろいろな人と一緒に活動することに慣れ、
適切なコミュニケーションができるようになる。



まとめ

「交流及び共同学習」の
活動を通して期待すること

【交流先の子どもたちには？】

障がいについて正しく理解してもらい、
地域での支援者に！

さらに、

学習したことを各家庭で話題にすることで、
その家族にも知ってもらおう。
理解者をより多く！

